

ページ	行	誤	正
8	↓1~2	“空間群の対称性はすべて”の語句の移動	その中で対称操作の種類によって、空間群の対称性はすべて決まるので…
9	↓9	対して	関して
12	↓13	液体空気	液体窒素
15	↓5	とである	とが必要である
	↓8	偏光の透過性を	偏光が結晶を透過できるかどうかを
16	文献 1)	Eds ac/uk Th.Hahn	Ed ac.uk T.Hahn
20	↓5	非晶質 (amorphous, amorphous solid, 非晶体ともいう)	非晶質 (amorphous, amorphous solid, 無定形ともいう)
36	文献 10)	S. Sueda	M. Sueda
39	↑7	ケーターで	ケーター内で
45	↑10	作成	製造
49	↓7	進入	侵入
53	↑6	融点測定をした場合にも、明確な融点を示す場合には、	融点測定において、明確な融点を示せば、
54	図3.15	(左の目盛り) 600	(左の目盛り) 800
65	図4.3	(一番上の行の左から2番目の文字) Solids	Solids
68	↑6	次の相	次の層
79	↓12	過熱	加熱
92	↓15	片つきする	ろ布にまばらに付着する
105	↑4	被基質	基質
111	↑2	非対象	非対称
193	↓5~6	シチジン 3'-リン酸, 3'-CMP	シチジン 5'-リン酸, 5'-CMP
	↓9	mg	Mg
207	図7.9	S. Kishimoto and M. Naruse,	S. Kishimoto, M. Naruse,
208	↓3	水溶性, または極性有機溶媒溶解性	水溶性または極性有機溶媒溶解性
218	↓13	しやすい	しやすい
	↓17	コンホマー	コンホマー
221	図8.5	(横軸)真中にある水の100%	50%
230	↓6	ファインリカー	ファイン・リカー
237	文献 21)	H. E. C. Power	H. E. C. Powers
222	図8.6 (出典)	浜口栄次郎, 桜井芳義人, 鈴木繁男 編, “澱粉科学ハンドブック”, 朝倉書店 (1995), p.447	浜口栄次郎, 桜井芳人 監修, “シュガーハンドブック”, 朝倉書店 (1964), p.570
	↓6, ↓10	文献番号 11)	11a)
236	文献 11)	桜井芳義人	桜井芳人
239	↑3	難容性	難溶性
242	↓1	防爆型	防爆型
253	↓7~8	“残念ながら、…多くの基礎研究例が報告されている。”の一文を移動	11行目末からの、「本章では」の前に移動する。 “…問題点が多い。残念ながら、…多くの基礎研究例が報告されている。本章では…”
258	↑12	P1	P1 (P1バー(1の上にバーをつける))
262	↓1	調整	調製
	↓3	(+)BNPPA	(+)-BNPPA
	↓5	分子量が大きく	座標を決定すべき原子数が多く
		調整	調製
264	図10.3	文献中の <i>Am.</i>	<i>Am.</i>
	図10.4	点線は水素結合を表す	→この文章は改行する
270	↑6	Sigell	Sigelle
272	文献 5)	Guzman O.	Guzman, O.
		<i>Am.</i>	<i>Am.</i>
	文献 6)	Soild	Solid
275	表11.1	ジメチルホキシンド	ジメチルスルホキシンド
	↓8	environmen	environment
280	表11.4	Hofman	Hofmann
285	↑3	杭マラリア	抗マラリア
286	文献 3)	Environmen	environment
288	↓1	ので, 参考のために示す.	ものは(m)を表示し, 参考のために示す.
	↓3, ↓9	Clippen	Crippen
	↑2	化学的相互作用	化学的相互作用
289,290	17番目	carbon tetrachloride	carbon tetrachloride
300	索引	オスワルド・ライプニング	オストワルド・ライプニング

↓:上から数える ↑:下から数える